

竹原市収受 方 第 号
01.5.20
送附先
分西支号


資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					 

令和1年5月29日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査 場 所	総社市社会福祉協議会
期 日	令和1年5月28日 ~ 令和1年5月28日
経 費	5880円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査 目 的	「ひきこもり支援は、社会全体の課題」 ～総社市におけるひきこもり支援の取り組みについて～
内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等)	<p>総社市は第2次総合計画において、「全国屈指の福祉文化先駆都市」を目標とすることとして、市、社会福祉協議会、住民が一体となって各種の福祉事業を推進している。</p> <p>横断的な総合支援体制の確立</p> <p>H21～障がい者基幹相談支援センター H24～障がい者千人雇用センター H25～権利擁護センター“しえん” H28～そうじゃ60歳からの人生設計所 H29～ひきこもり支援センター</p> <p>総社市におけるひきこもりの定義 中学卒業後であって、 おおむね6か月以上 社会から孤立している状態</p>
効果・成果 等	<p>周防大島町の民生委員さんの視察研修に同席させていただいた。</p> <p>行政がひきこもり支援に取り組む意義を明確にし、実態調査、サポーター養成講座、支援センターの設置と事業を進めておられた。</p> <p>また、去年の豪雨災害のときには、高校生が一番にボランティアに参加。ひきこもり支援センター「ワンタッチ」のボランティアに登録されている方が60名以上。福祉委員を45世帯に一人配置(委嘱数588人)。など、行政と市民の連携が素晴らしいと感じた。今後も研究を続けたい。</p>

総社市

ひきこもり ワンタッチ 支援センター

あなたのことを忘れていません

あなたと一緒に考えます

相談専用

☎ 92-8597

E-mail: soudan@sojasyakyo.or.jp

ご本人へ

ひきこもりの方の多くが焦りや不安を抱えています。自分で答えが見つからないときは、まずご相談ください。一步踏み出すあなたと一緒に考えます。

ご家族へ

誰かに話をすることで気持ちが楽になり、一緒に考えると、問題の整理ができます。ご家族だけでもご相談ください。









- 専門の相談員が、対応します
- 相談の内容についての秘密は守られます
- 相談は無料です

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

ひきこもり支援センター ワンタッチ

竹原市	受
竹	第
01.5.27	号
発行年月	日
発行部局	保存年限


議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局長	員
						

資料様式第3号

令和1年5月27日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査場	全国市町村国際文化研修所
期日	令和1年5月20日 ~ 令和1年5月21日
経費	29860円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目的	令和元年度市町村議会議員研修[2日間]コース 「住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～」
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>講義・演習Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語コミュニケーションのポイント ・傾聴のスキル ・質問のスキル「ヒーロー・インタビュー」 ・承認のスキル「ほめ活かし、ほめ育ての三箇条」 ・アイデンティティ・ポートフォリオ <p>講義・演習Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションとダイアログ ・質問会議:問題を提起する ・行動を決定する⇔意味を共有する ・立場の違いをどう乗り越える? ・「変化力をもつ対話」は何でできている? ・情報を発信するうえでの工夫
効果・成果等	<p>現在議会だより編集委員会の事務局長であり、以前より、広報広聴の活動を推進したいと思い活動しており、研修のテーマが「住民とのコミュニケーション」であり、今後の参考になると考え参加した。講義では、講師の話がファシリテーターとしての実践であり、非常に参考になった。演習では、少人数でのディスカッションとダイアログが繰り返し行われ、他の参加者と悩みを共有し、率直な意見交換ができた。</p> <p>現在議会だよりの特集で計画している、高校生との意見交換会の企画に活用できることが多く、大変良かった。</p>



2019年度

市町村議会議員研修[2日間コース]

住民とのコミュニケーション ～対話と発信力の向上～

自治体を取り巻く課題が山積し、地域住民のニーズが多様化するなか、議員としての役割を果たしていくためには、住民の声に耳を傾け、それらを施策に反映させることや、施策等を住民に分かりやすく伝えることなどが重要です。

この研修では、講義・演習を通して、下記のポイントを中心に、議員のコミュニケーション能力のさらなる向上を目指します。

研修の ポイント

- 日頃の活動のなかでの住民とのコミュニケーションについてふりかえります。
- 住民の多様な声や、地域に潜在するニーズを広く把握し理解することについて学びます。
- 地域の情報や施策など、伝えたいことや住民が求めていることを、より分かりやすく発信することについて、SNSなども含めた様々な媒体の活用と注意すべき点について考えます。
- 研修で得た気づきを自身の活動に照らし、今後の展開につなげます。

開催要領

日程 2019年5月20日(月)～5月21日(火) (2日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 市区町村議会議員の皆様

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※より多くの方に受講していただくため、平成30年度同研修(平成30年4月19日～20日実施)を受講された方のお申し込みをお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

募集人数 60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 7,300円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 2019年3月26日(火)まで

申込方法 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

2019年

5月

20日(月)

11:00 ~ 入寮受付・昼食

12:30 ~ 開講式・オリエンテーション

13:00 ~ 17:00

講義・演習 住民とのコミュニケーション I

京都造形芸術大学副学長、特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 **本間 正人 氏**

日頃の活動における住民とのコミュニケーションについてふりかえり、参加体験型学習を通して、住民の多様な声や地域に潜在しているニーズを広く把握し、理解することについて学び考えます。また、地域の情報や施策など、住民に伝えたいことや住民が必要としている情報をより分かりやすく発信することについて、SNS等の媒体を含めた活用とその際の注意すべき点について学びます。

17:30 ~ 交流会 ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

2019年

5月

21日(火)

9:25 ~ 14:10

講義・演習 住民とのコミュニケーション II

京都造形芸術大学副学長、特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 **本間 正人 氏**

前日に引き続き、参加体験型学習を通して学び、コミュニケーション能力のさらなる向上を目指します。また、2日間の研修のふりかえりとまとめを行い、今後の議員活動につなげます。

14:10 ~ 14:25

閉講・事務連絡

【講師紹介】

本間 正人(ほんま まさと) 氏

京都造形芸術大学教授・副学長、特定非営利活動法人学習学協会代表理事

東京大学文学部社会学科卒業後、松下政経塾第3期生として入塾し、松下幸之助の経営哲学を学ぶ。ミネソタ大学大学院修了(成人教育学 Ph.D.)。

ミネソタ州政府貿易局、松下政経塾研究主担当(研究部門責任者)、NHK教育テレビ「実践ビジネス英会話」「三か月トピック英会話: SNSで磨く英語アウトプット表現術」の講師などを歴任。

一般社団法人大学イノベーション研究所代表理事、アカデミックコーチング学会会長、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会理事、一般財団法人しつもん財団理事などをつとめる。

「教育学」を超える「学習学」を提唱。「研修講師塾」を主宰し多数の講師を養成。超参加型の企業研修講師(エデュテイナー)として定評がある。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉などの著書多数。

平成30年度研修受講者の声～研修アンケートから～

- 講義の内容がわかりやすく、大変楽しく引き込まれました。
- 演習を通じて、コミュニケーションにおいて何が大切かをよく理解することができました。
- 傾聴力の向上、相手の良さを引き出すコーチングを実践していきたいです。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。